



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occ.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「ジョニー」

この五月二十五日「メッセージ・オブ・ラブ」という集会在ラハブラのカルバリー・チャペルで開かれた。そこは滝井ジュン兄が日本人集会を創めた教会でもある。七百五十名も入る会場は立錐の余地もないほどの盛況振りであった。そこでは小坂忠師と娘さんのエイジアさんが会場を盛り上げてくれた。彼の「勝利者」という歌は僕の大好きな歌の一つで、実際に聞くことができ感動であった。それに日本語聖歌隊は、田口謙二兄の指揮のもとに、この3月から月2回、このオレンジ郡教会でも、そして他の二箇所でも練習を積み上げてきたこともあり、ハレルヤ・コーラスやアーメン・コーラスは実に圧巻であった。

今回のメインはジョニーとケンご夫妻によるメッセージであった。僕は彼らほど仲の良い夫婦はいないのではないかと思っていたのだが、彼らにも問題があった。特にジョニーは十七歳の時に東海岸の海に飛び込んで頸椎を損傷して以来、下半身不随で車イスに縛られた生活である。だから彼女は、その生活すべてをご主人や、ヘルパーに看てもらわなくてはいけない。ある日、ケンが彼女に日頃感じて自分の課題をぶつけてみた。それは彼女の看護が次第に重荷になっていくという内容であった。実はその会話が昨年召された家内・節子の長年に及ぶ看病と重なって、僕は食い入るように彼らの話を聞いていた。

ジョニー、僕は何かワナにはまっているような気がしているんだ。君の車イスが問題なのじゃない。僕が不満なのでもない。でも、何か疲れてしまったんだ。もちろん、もう結婚がダメだと言ってるんじゃない。まだお互いに祈れるし、キリストの助けの中で一緒にやっているとと思うんだが。ジョニーは言った。私たち主を信じている者同士の仲を裂こうとしている悪の霊が働いているのよ。ケン、一緒に祈りましょうよ。そして一緒に聖書を読みましょうよ。キリストに信頼することによって、必ずこの危機を乗り越えることができるわよ！ やがて彼らには夫婦本来の会話が戻ってきた、それのみか、これまで以上に深い愛をもってお互いに接することができるようになったのである。

夫婦間の問題は夫婦そのものではなく、「わたしたちの戦いは血肉に対するものではなく、悪の霊に対する戦いである」(エペソ六・12)とあるように、愛の関係を引き裂く悪の霊が問題なのである。そう言えば僕が長引く看護に疲れていた時、家内の絶えざる賛美が僕の心を主に向ける力になったのだ。主に立ち返ることがすべての問題解決の鍵である。それを再確認した一時だった。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

